

決算補足説明資料

2021年11月5日
株式会社ナック
東証一部 9788

The illustration is a vibrant, isometric-style drawing divided into several colored rectangular zones. The top-left zone (purple) shows a chef in a white uniform cooking at a stove, a person in a white shirt and purple pants using a yellow vacuum cleaner, and another person in a yellow shirt and white pants sweeping with a red broom. The top-middle zone (orange) depicts a person in a white suit standing next to a white car with 'Coca-Cola' branding, a person in a green shirt and white pants standing next to a water dispenser, and a person in a blue shirt and white pants sitting at a desk with a computer. The top-right zone (green) shows a large house with solar panels on the roof, a smaller house, and a large building with a grid-like facade. The bottom-left zone (blue) features a person in a white shirt and purple pants using a yellow vacuum cleaner, a person in a white shirt and purple pants standing next to a water dispenser, and a person in a blue shirt and white pants sitting at a desk with a computer. The bottom-right zone (pink) shows a person in a white shirt and purple pants using a yellow vacuum cleaner, a person in a white shirt and purple pants standing next to a water dispenser, and a person in a blue shirt and white pants sitting at a desk with a computer. The background is a light green field with several trees.

注) IR説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止いたします。
この資料は、第2四半期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

本資料の記載内容

1. 第2四半期の実績	… P. 2
2. セグメント別業績	… P. 10
3. 配当	… P. 30
4. 中期経営計画	… P. 32
5. 会社概要	… P. 34

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

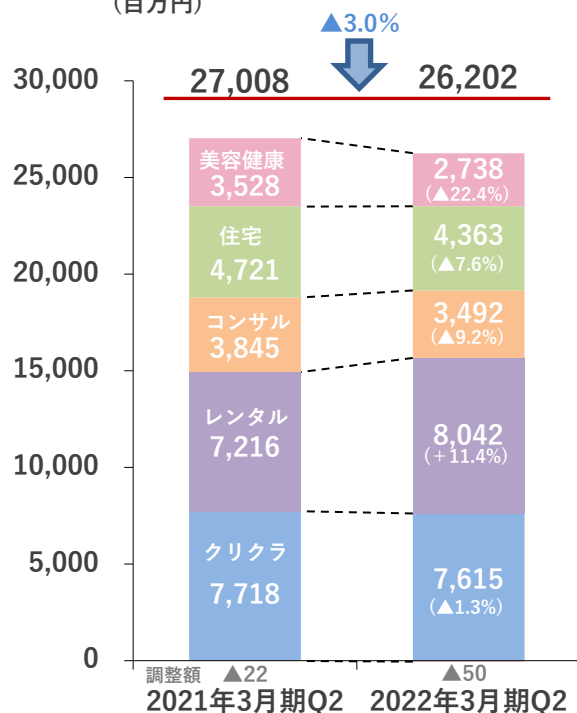
1. 第2四半期の実績

1-1 業績ハイライト（前年同四半期比）

- 売上高：レンタル事業 (株)アーネストにてワクチン職域接種会場運営の大口受注で売上高増加
 美容・健康事業 (株) J I M O Sにて顧客数減少と感染症の影響により売上高減少
- 営業利益：クリクラ事業 販促活動強化により営業利益減少
 美容・健康事業 (株) J I M O Sで販促活動の後ろ倒しにより黒字転換
 本社費用等 創業50周年関連費用により増加
- 四半期純利益 (※)：前期に(株)レオハウスの株式売却益発生があり当期は減少

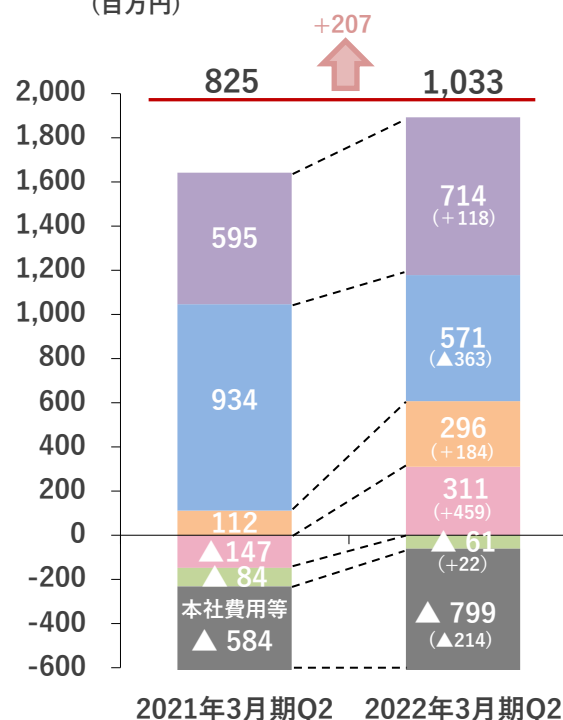
売上高 (カッコ内は増減率)

(百万円)



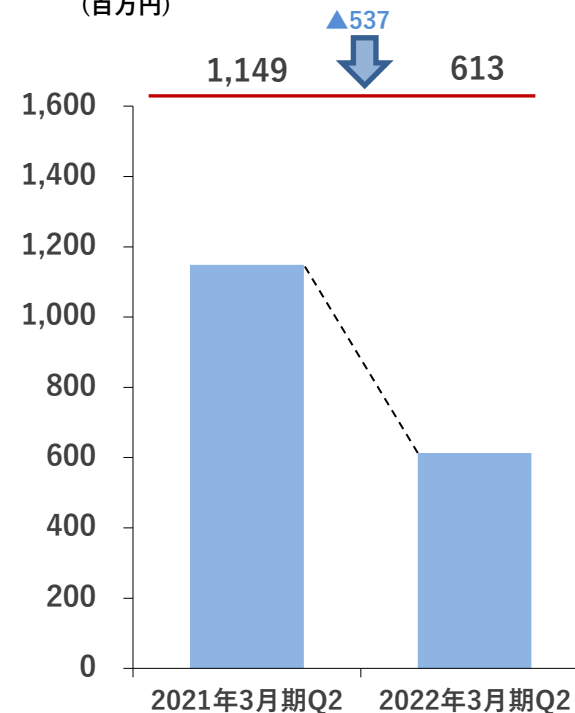
営業利益 (カッコ内は増減額)

(百万円)



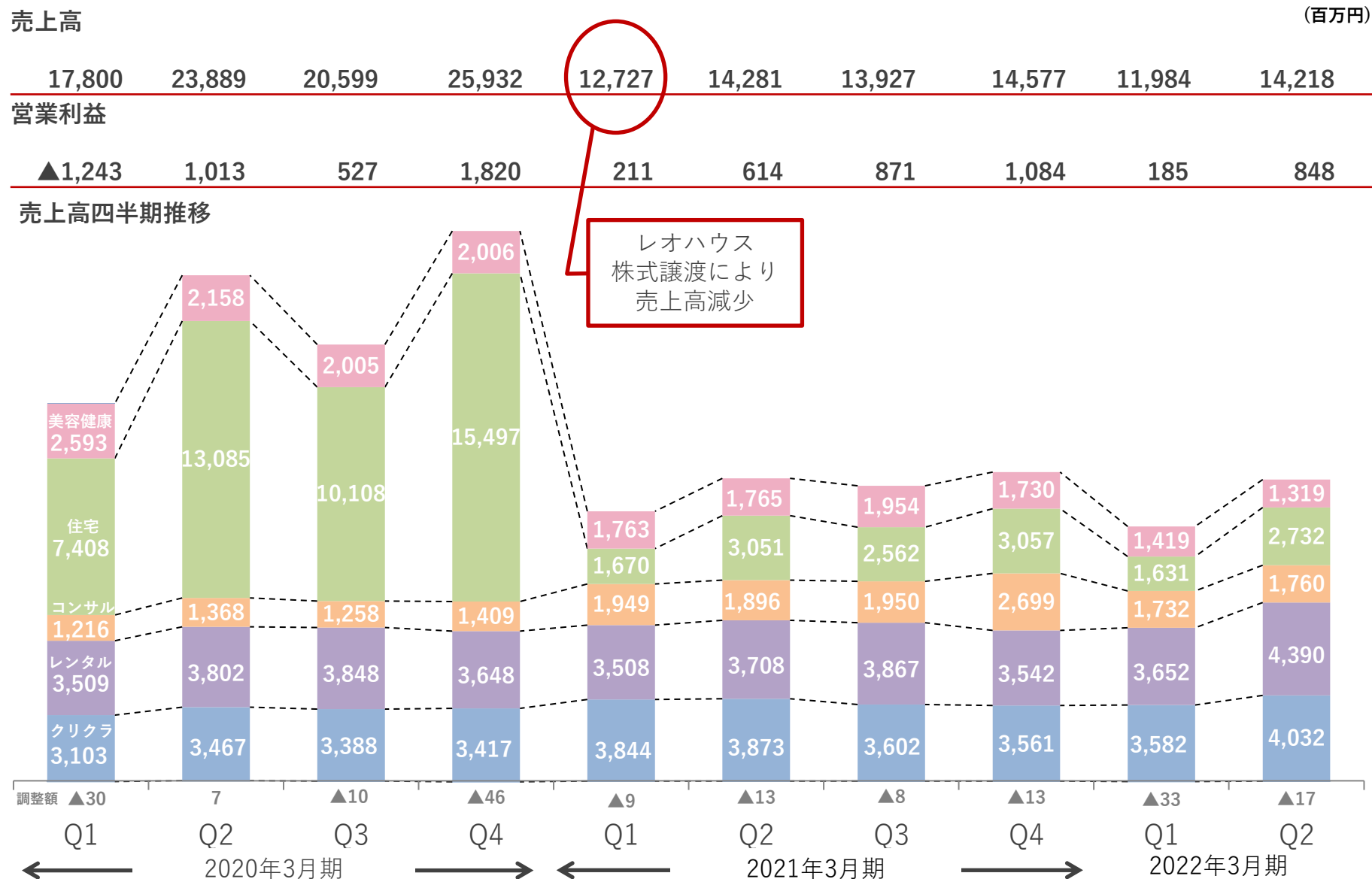
四半期純利益 (※)

(百万円)



(※) 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益、調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-2 四半期別 売上高／営業利益の四半期推移



(※) 調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-3 営業利益の増減要因（前年同四半期比）

- ≫ 売上総利益：美容・健康事業での売上高減少により減少
- ≫ 広告宣伝費及び販売促進費：美容・健康事業での削減により減少
- ≫ 減価償却費・のれん償却額：のれんの一部が償却期間終了に伴い減少

			(百万円)
			前期比増減率
2021年 3 月期 Q2 営業利益		825	—
売上総利益の増減		▲ 254	▲ 1.9%
販売費及び 一般管理費の増減	人 件 費	+ 27	+ 0.5%
	広 告 宣 伝 費 及 び 販 売 促 進 費	+ 190	+ 12.4%
	地 代 家 賃	+ 5	+ 0.7%
	減 価 償 却 費 ・ の れ ん 償 却 額	+ 145	+ 26.1%
	そ の 他 販 管 費	+ 94	+ 2.1%
2022年 3 月期 Q2 営業利益		1,033	+ 25.1%

1-4 貸借対照表 資産の部

- ≫ 流動資産：現金及び預金 ▲2,140 未成工事支出金 +467 販売用不動産 +261
- ≫ 固定資産：のれん +158 ((株)トレミーのM&Aによる。)

(百万円)					
	2022年3月期 Q2	構成比	2021年3月末	構成比	増減額
流動資産	25,446	62.6%	26,204	64.2%	▲ 758
有形固定資産	9,001	22.2%	8,841	21.6%	+ 160
無形固定資産	1,853	4.6%	1,679	4.1%	+ 173
投資その他の資産	4,321	10.6%	4,098	10.0%	+ 222
固定資産	15,176	37.4%	14,619	35.8%	+ 556
繰延資産	—	—	23	0.1%	▲ 23
資産合計	40,623	100.0%	40,847	100.0%	▲ 224

1-5 貸借対照表 負債の部・純資産の部

≫ 流動負債：短期借入金 ▲1,000 未成工事受入金 + 595

≫ 固定負債：特記事項無し

≫ 純資産：その他有価証券評価差額金 +270百万円 利益剰余金 ▲258

(利益剰余金：配当金支払による▲789、親会社株主に帰属する当期純利益+613)

(百万円)

	2022年3月期 Q2	構成比	2021年3月末	構成比	増減額
流動負債	13,220	32.5%	13,619	33.3%	▲ 399
固定負債	5,994	14.8%	5,872	14.4%	+ 121
負債合計	19,214	47.3%	19,492	47.7%	▲ 277
株主資本	21,735	53.5%	21,960	53.8%	▲ 225
その他の包括利益累計額	▲ 391	▲ 1.0%	▲ 662	▲ 1.6%	+ 271
非支配株主持分	64	0.2%	57	0.1%	+ 6
純資産合計	21,408	52.7%	21,355	52.3%	+ 53
負債・純資産合計	40,623	100.0%	40,847	100.0%	▲ 224

1-6 連結キャッシュフロー

- ≫ 営業活動：税金等調整前四半期純利益 +1,078 未成工事受入金の増加 +595
 棚卸資産の増加 ▲392 未払消費税の減少 ▲310
 ≫ 投資活動：連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得 ▲333 有形固定資産の取得 ▲152
 ≫ 財務活動：短期借入金の減少 ▲1,000 配当金の支払額 ▲788

	2022年3月期 Q2実績	2021年3月期 Q2実績	(百万円) 2021年3月期 通期実績
1.営業活動によるキャッシュフロー	626	2,690	6,454
2.投資活動によるキャッシュフロー	▲ 822	▲ 1,055	▲ 1,448
3.財務活動によるキャッシュフロー	▲ 1,986	2,546	54
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,181	4,181	5,060
現金及び現金同等物の期首残高	14,188	9,115	9,115
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	11	11
現金及び現金同等物の期末残高	12,008	13,309	14,188
減価償却費	495	499	1,007

1-7 連結業績予想

- ≫ レンタル事業にてワクチン接種会場の運營業務を大口受注により営業利益増加
- ≫ クリクラ事業にて営業人員確保の遅れ、販促活動計画未達により人件費、広告宣伝費が減少
- ≫ 美容・健康事業にて広告宣伝費等の投下時期を後ろ倒しにより営業利益増加

(百万円)				
	2022年3月期 Q2予想 ※	2022年3月期 Q2実績	増減額	
売上高	26,700	26,202	▲ 497	
営業利益	450	1,033	+ 583	
経常利益	450	1,027	+ 577	
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	613	+ 363	
EPS	11.16 円	27.37 円	+ 16.21	

※2022年3月期Q2予想は当初予想値。2021年11月4日に業績予想修正開示をしております。

2. セグメント別業績

2-1. クリクラ事業

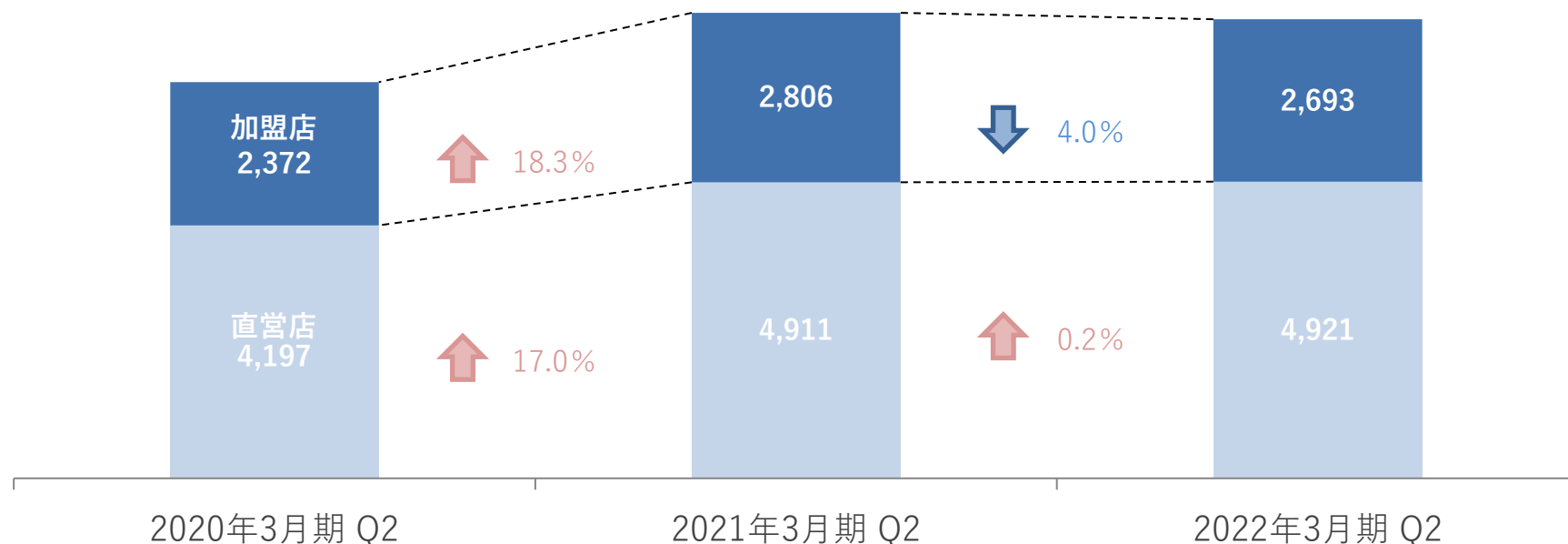
2-1a クリクラ事業 売上高および営業利益推移

- » 売上高 : 直) クリクラボトルの売上高は前年同期比同水準を維持
加) 「クリクラFit」によりクリクラサーバー販売台数が増加
次亜塩素酸水溶液「ZiACO (ジアコ)」関連商材販売は反動減により減少
- » 営業利益: 直・加) 販売活動の強化および営業人員の増加により
販売費及び一般管理費が増加し、営業利益が減少

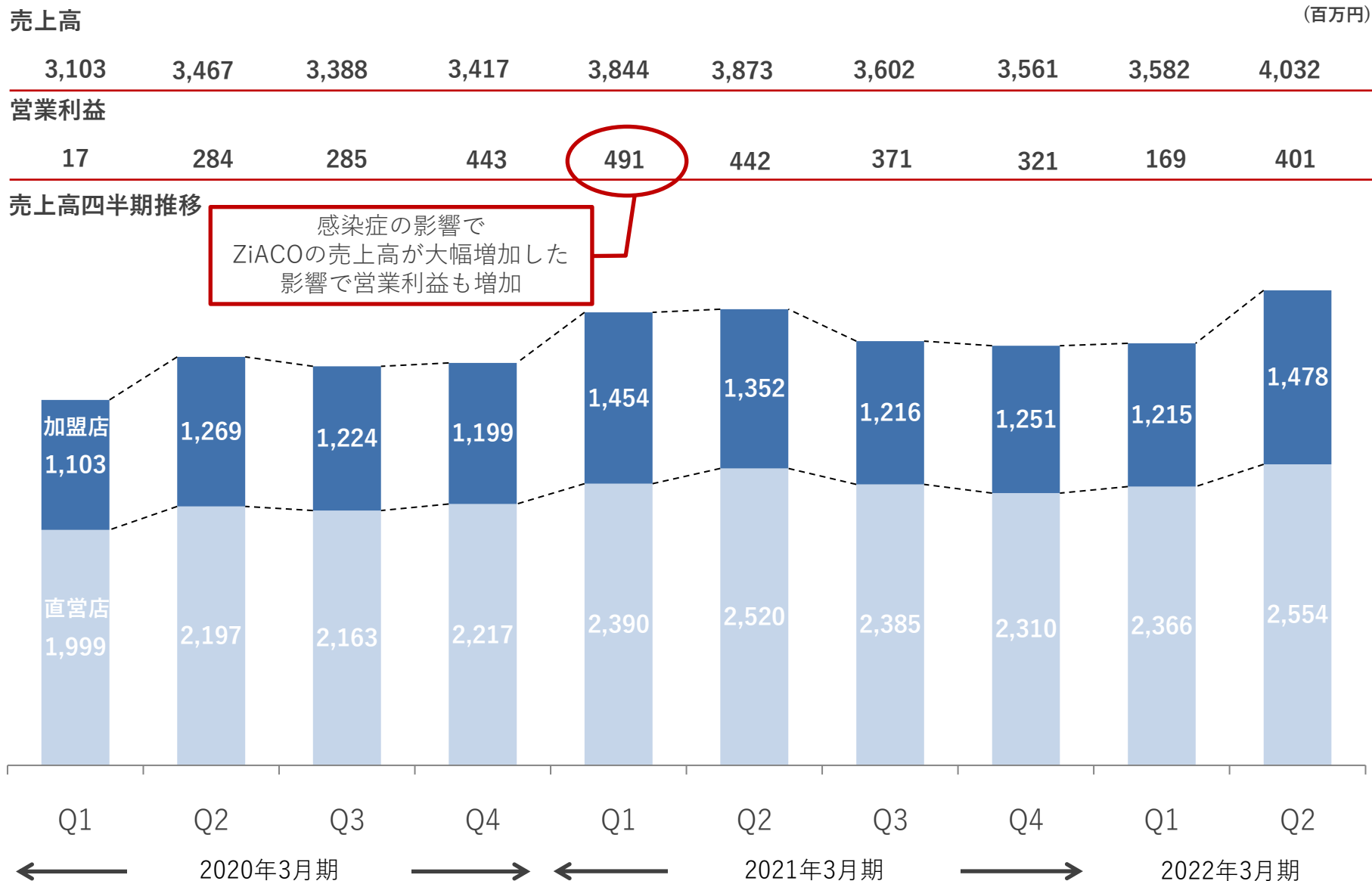
注) 直: 直営店 加: 加盟店

売上高	6,570	7,718	7,615
営業利益	302	934	571

売上高推移



2-1b クリクラ事業 売上高／営業利益の四半期推移



2-1c クリクラ事業 第51期以降の重点施策

- ≫ Webなどの販売手法の強化を通じた顧客件数の拡大
 - ⇒ 新商品・新サービスの提供
 - ⇒ キャラクターコラボ・イベント開催
- ≫ ZiACOのブランド強化と生産キャパシティの拡大
 - ⇒ 生産性向上を目的に、新規投資を実施



※2020年12月ニフティ（株）調べ
「宅配水に関する調査」



クリクラFit



※2020年12月 Anetis運営事務局調べ



マルチサーバー
クリクラShuwa



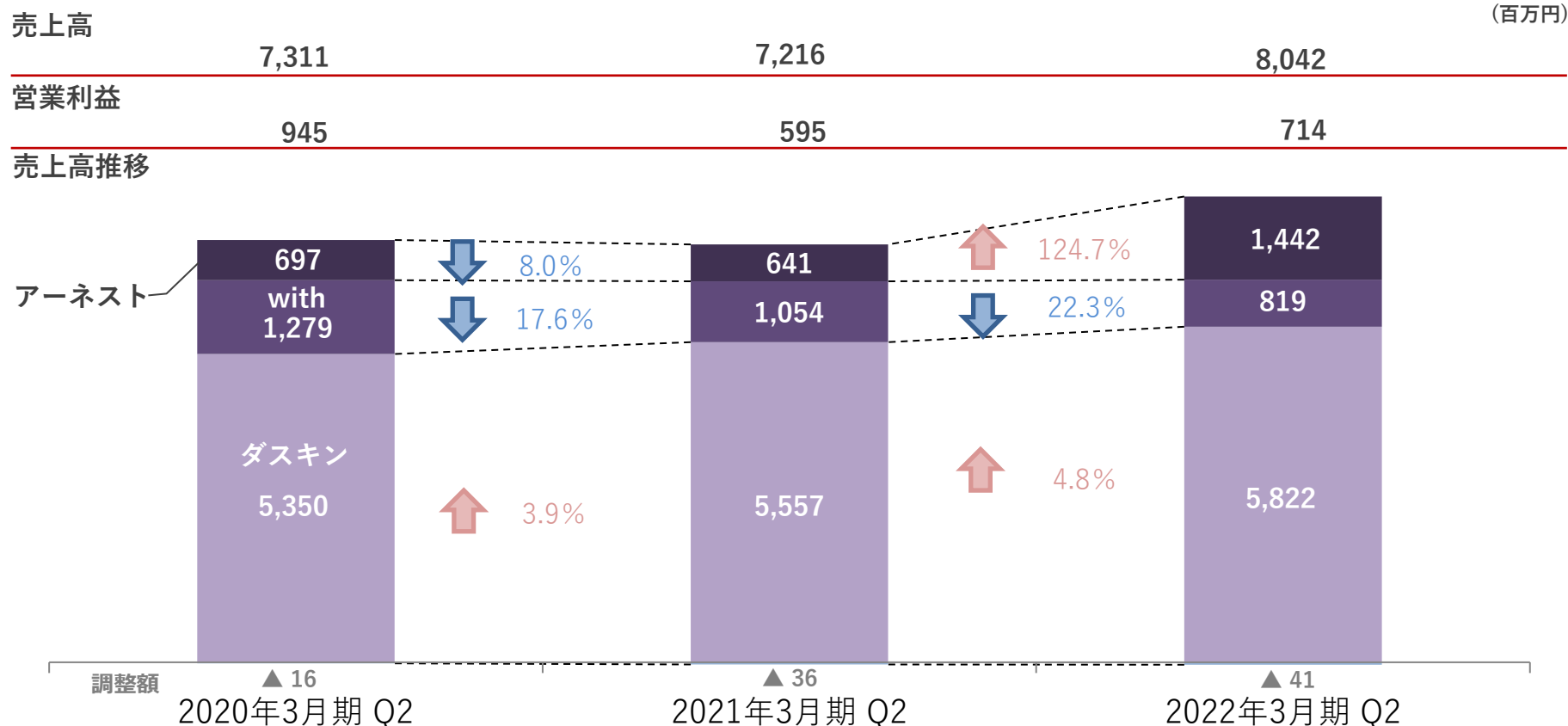
2. セグメント別業績

2-2. レンタル事業

2-2a レンタル事業 売上高および営業利益推移

- ≫ 売上高 : ダ) ダストコントロール商品部門での売上高は前年同期比同水準
 ケアサービス部門における事業追加拠点での売上高増加
 wi) 大都市圏の飲食店休業が継続したことによる顧客数減少に伴い売上高減少
 ア) ワクチン職域接種会場運営の大口顧客からの受注により大幅に売上高増加
 ≫ 営業利益 : (株)アーネストの売上高増加により営業利益が増加

注) ダ: ダスキン事業 wi: with事業 ア: (株)アーネスト



(※) 調整額: 主にセグメント内の売上高

2-2b レンタル事業 売上高／営業利益の四半期推移

売上高

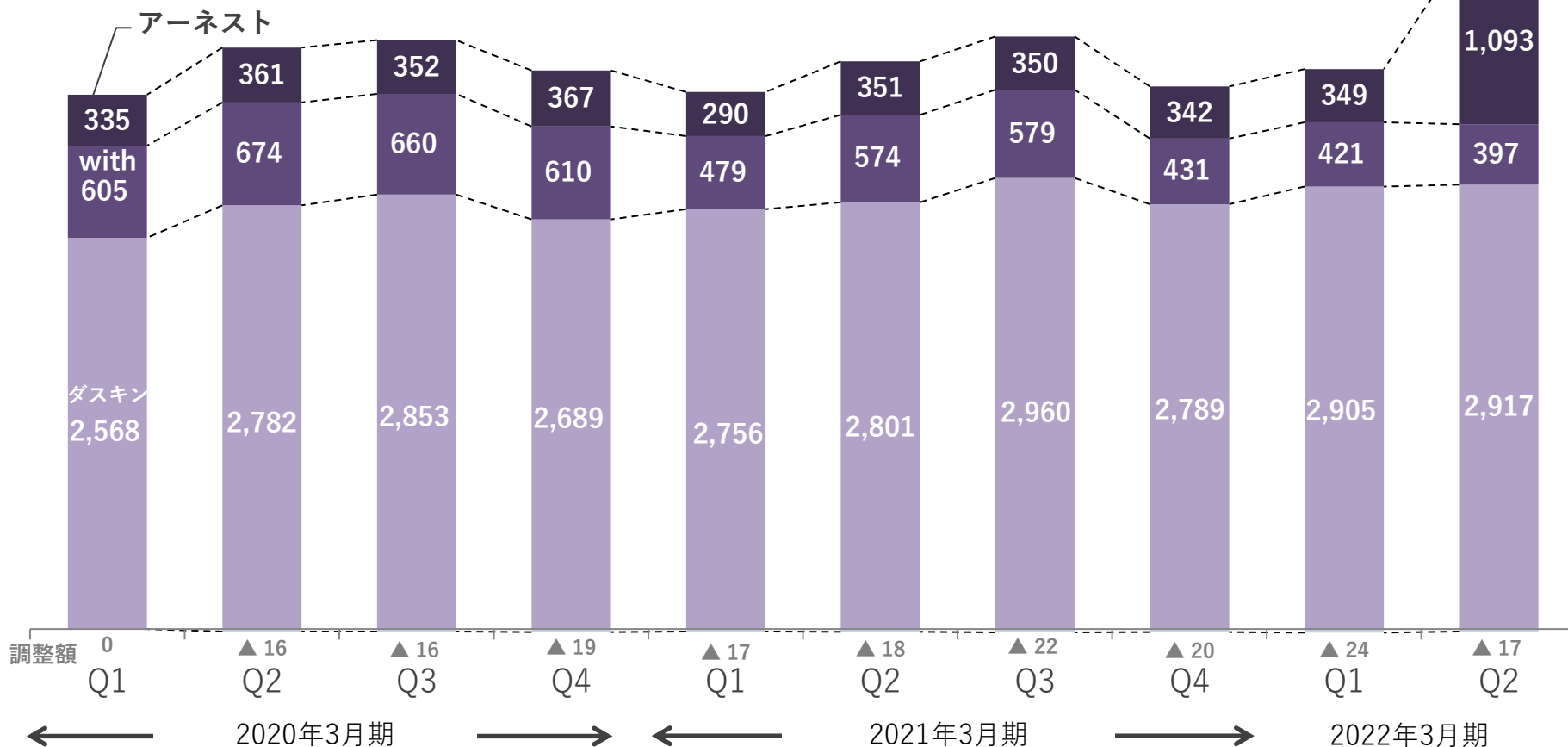
(百万円)

3,509 3,802 3,848 3,648 3,508 3,708 3,867 3,542 3,652 4,390

営業利益

443 502 530 368 267 328 446 290 290 424

売上高四半期推移



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-2c レンタル事業 第51期以降の重点施策

- ≫ (株)ダスキンとの資本業務提携による計画推進
 - ⇒ ケアサービス部門：提携後の46事業追加に加え、21事業を追加
 - ⇒ ヘルスレント部門：提携後の2店舗出店に加え、新たに2店舗を出店
- ≫ ダスキン事業（ダストコントロール商品部門）：ダスキン加盟店のM&Aを推進
- ≫ 害虫駆除（with）事業：除菌・衛生分野での新たな市場開拓により販路拡大

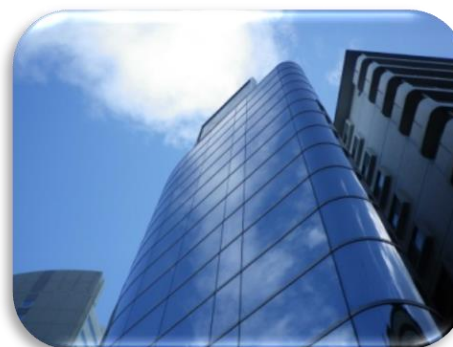


衛生環境を整える
DUSKIN

Health
Rent
ヘルスレント



with



 **EARNEST**
総合ビル管理 株式会社アーネスト

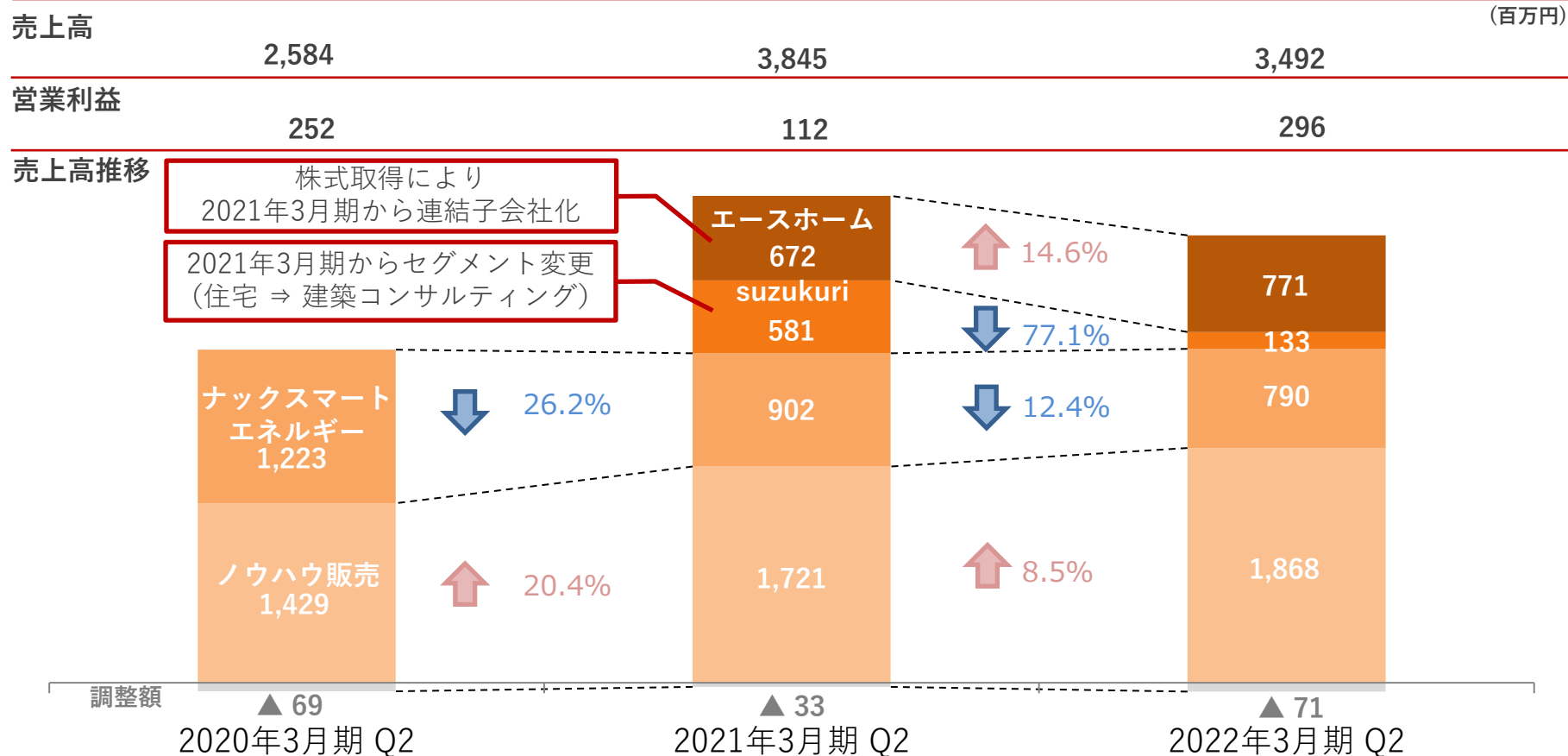
2. セグメント別業績

2-3. 建築コンサルティング事業

2-3a 建築コンサルティング事業 売上高および営業利益推移

- ≫ 売上高 : ノ) ノウハウ商品内容のリニューアル等により売上高増加
 ナ) 半導体不足の影響による工期遅延により売上高減少
 su) 感染症の影響による受注残高減少および代理店販売中止により売上高減少
 エ) ナックとの共同開発商品の好調により売上高増加
 ≫ 営業利益 : ノ) ノウハウ商品の売上高増加により営業利益増加

注) ノ : ノウハウ販売部門 ナ : ナックススマートエネルギー(株) su : suzukuri Div. エ : エースホーム(株)

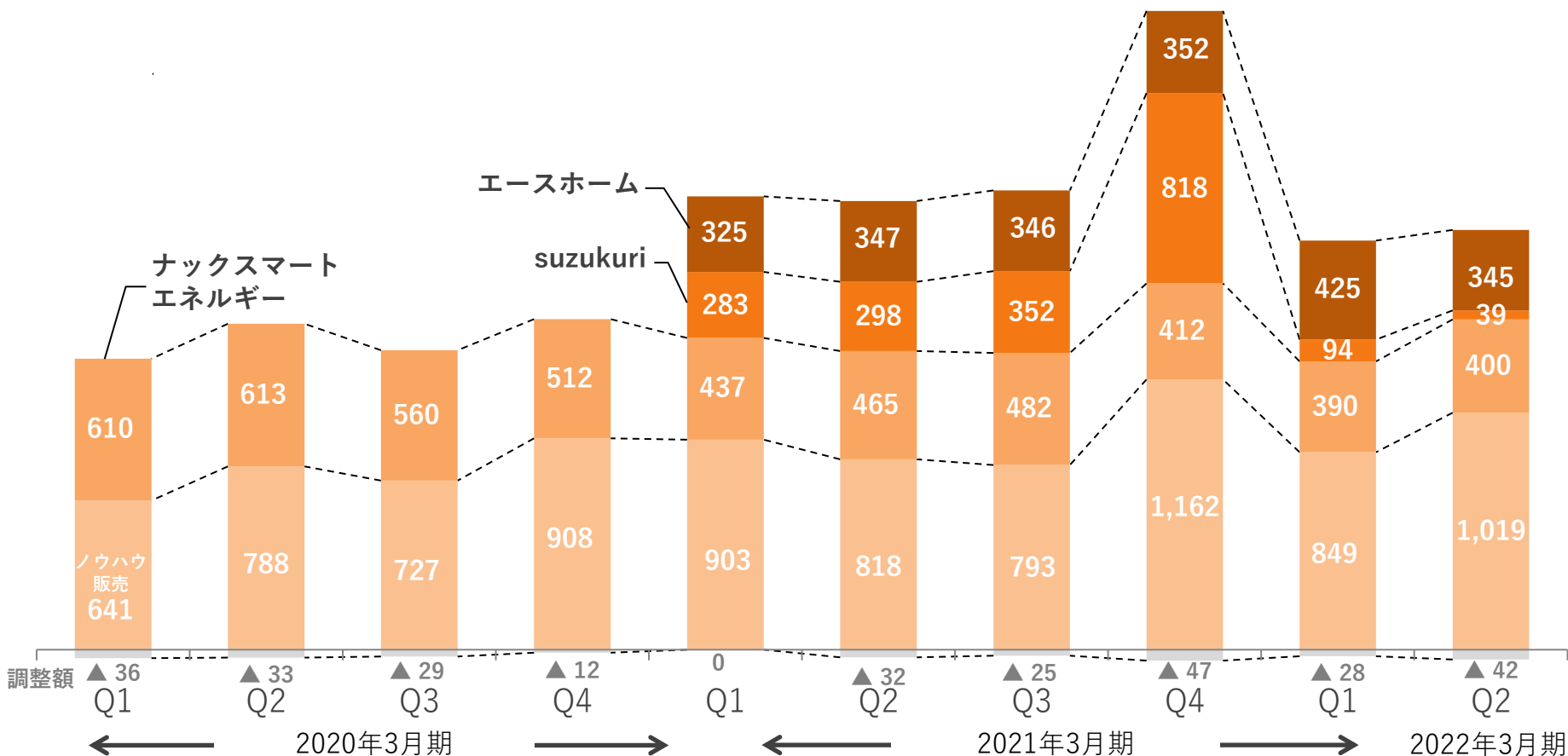


(※) 調整額 : 主にセグメント内の売上高

2-3b 建築コンサルティング事業 売上高／営業利益の四半期推移

売上高										(百万円)
1,216	1,368	1,258	1,409	1,949	1,896	1,950	2,699	1,732	1,760	
営業利益										
60	192	147	330	▲ 25	138	188	506	84	212	

売上高四半期推移



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-3c 建築コンサルティング事業 第51期以降の重点施策

- ≫ ノウハウ販売部門：工務店の価値最大化を図ることを目的に、
DXおよびVRによる非対面型の新たなサービスを提供
- ≫ ナックススマートエネルギー(株)：国や自治体の省エネ施策が軸足を置く住宅市場への
販売促進活動を強化
- ≫ エースホーム(株)：事業間シナジーを創出する住宅商品の追加



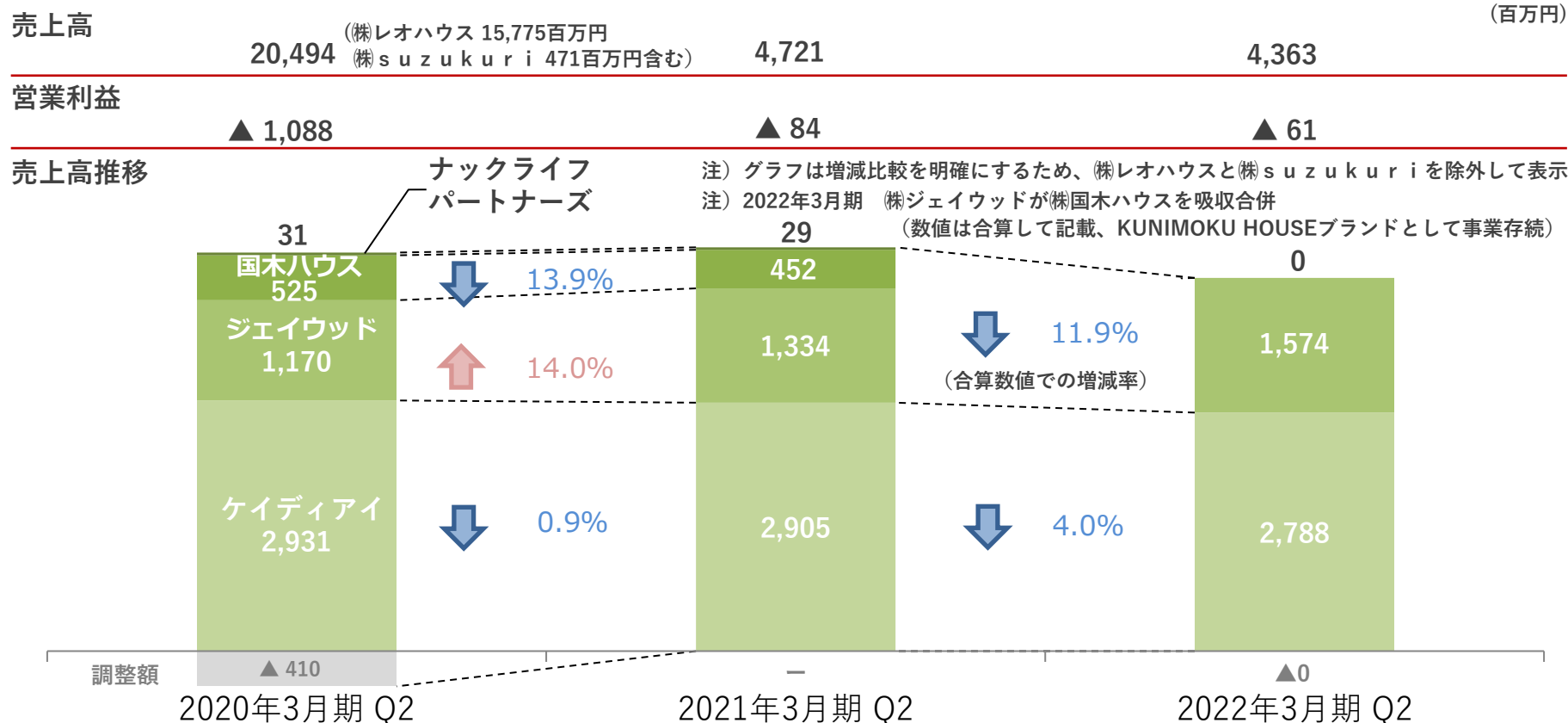
2. セグメント別業績

2-4. 住宅事業

2-4a 住宅事業 売上高および営業利益推移

- ≫ 売上高：(株)suzukuri（現suzukuri Div.）のセグメント変更により売上高は大幅減少
- ≫ 営業利益：ジ）前期実施した店舗の統廃合・移転による
販管費及び一般管理費の削減により営業損益が改善
ケ）住宅需要増加による土地価格上昇が寄与し営業利益増加

注）ケ：(株)ケイディアイ ジ：(株)ジェイウッド 国：KUNIMOKU HOUSE事業 ナ：(株)ナックライフパートナーズ



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

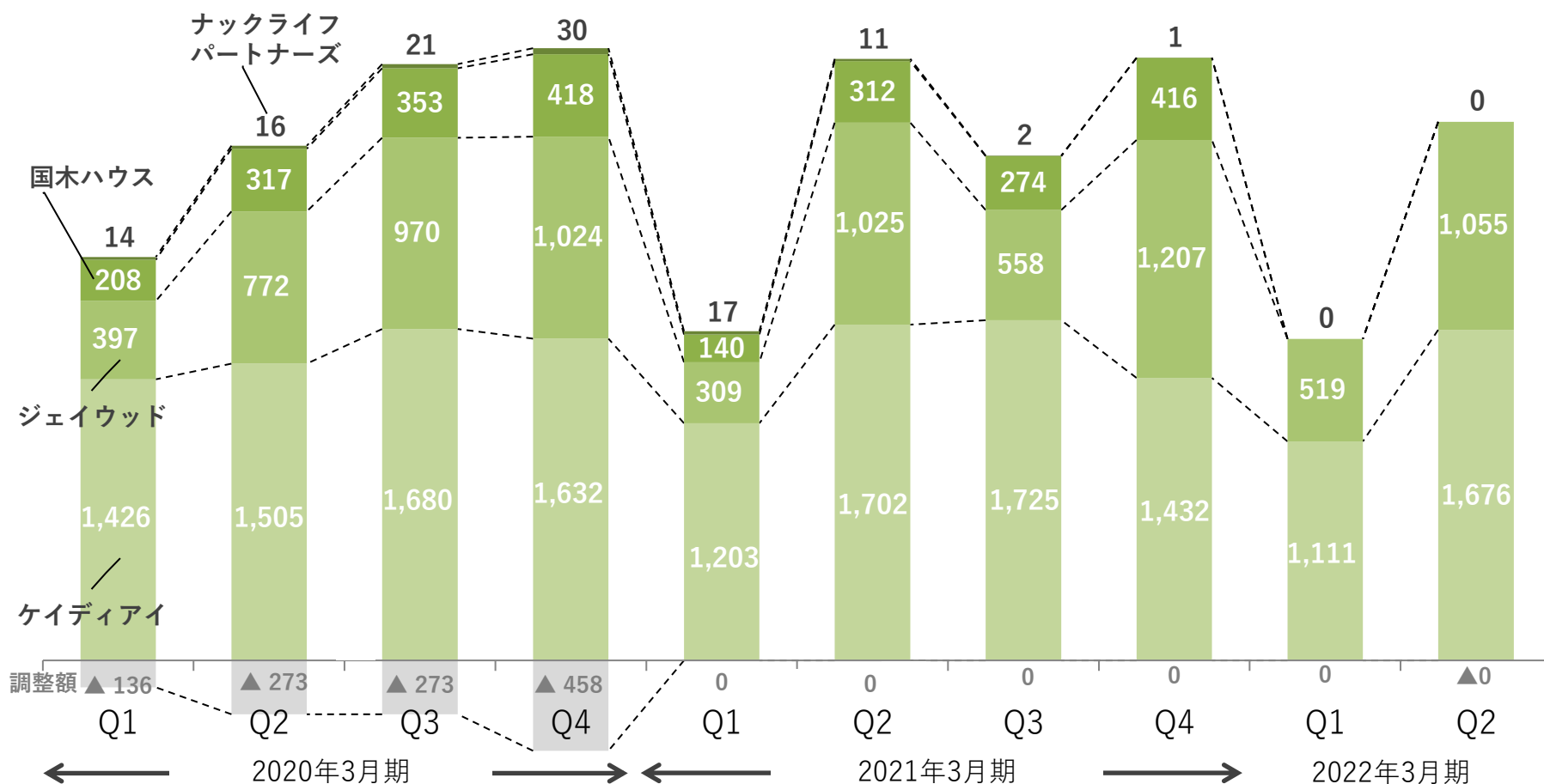
2-4b 住宅事業 売上高／営業利益の四半期推移

注) 表内の売上高および営業利益は、(株)レオハウスおよびsuzukuri Div.を含んだ数値

売上高	(百万円)									
	7,408	13,085	10,108	15,497	1,670	3,051	2,562	3,057	1,631	2,732
営業利益										
▲ 1,350	261	▲ 350	894	▲ 156	72	▲ 4	163	▲ 114	53	

売上高四半期推移

注) グラフは増減比較を明確にするため、(株)レオハウスとsuzukuri Div.を除外して表示



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-4c 住宅事業 第51期以降の重点施策

- ≫ (株)ジェイウッド：吸収合併した(株)国木ハウスを含む2社の経営資源集中と経営効率化を図るとともに、双方の強みを活かした事業を展開
- ≫ (株)ケイディアイ：売上高増加と収益性強化を目的とする営業エリア拡大の進行
(東京23区外への展開)

KDI-HOME

Kindness, Development, Integrity



KUNIMOKU HOUSE



株式
会社

ジェイウッド



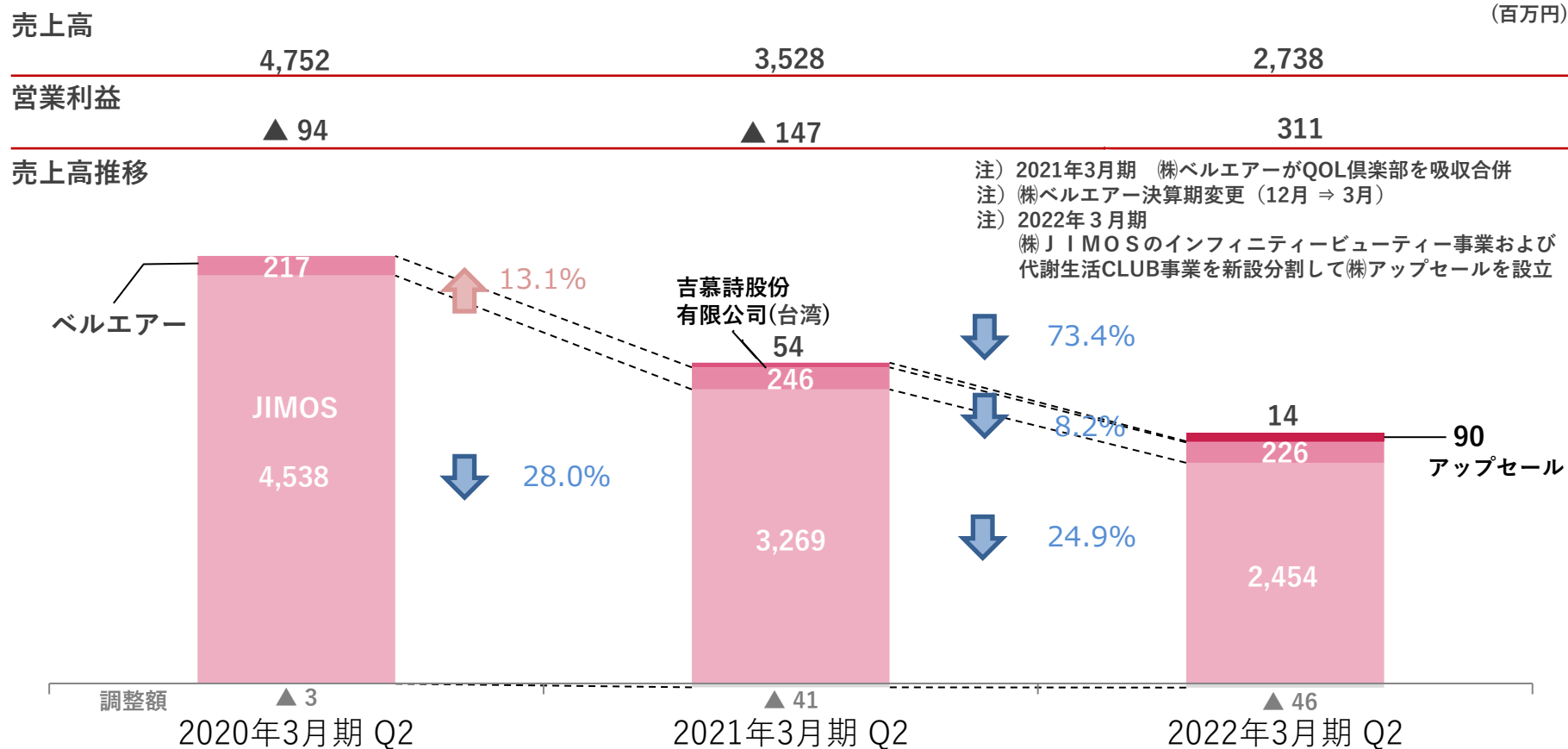
2. セグメント別業績

2-5. 美容・健康事業

2-5a 美容・健康事業 売上高および営業利益推移

- ≫ 売上高 : J) 2019年7月発覚のECサイトへの不正アクセスに起因する顧客数減少および感染症の影響によるメイクアップ商品出荷減により売上高減少
 べ) 美容健康雑貨等の販売拡大により売上高減少
 ≫ 営業利益: J・べ) 広告宣伝費や業務委託費を中心とした販売費及び一般管理費の削減により黒字転換

注) J: (株)JIMOS ベ: (株)ベルエアー 吉: 吉慕詩股份有限公司(台湾) ア: (株)アップセール



2-5b 美容・健康事業 売上高／営業利益の四半期推移

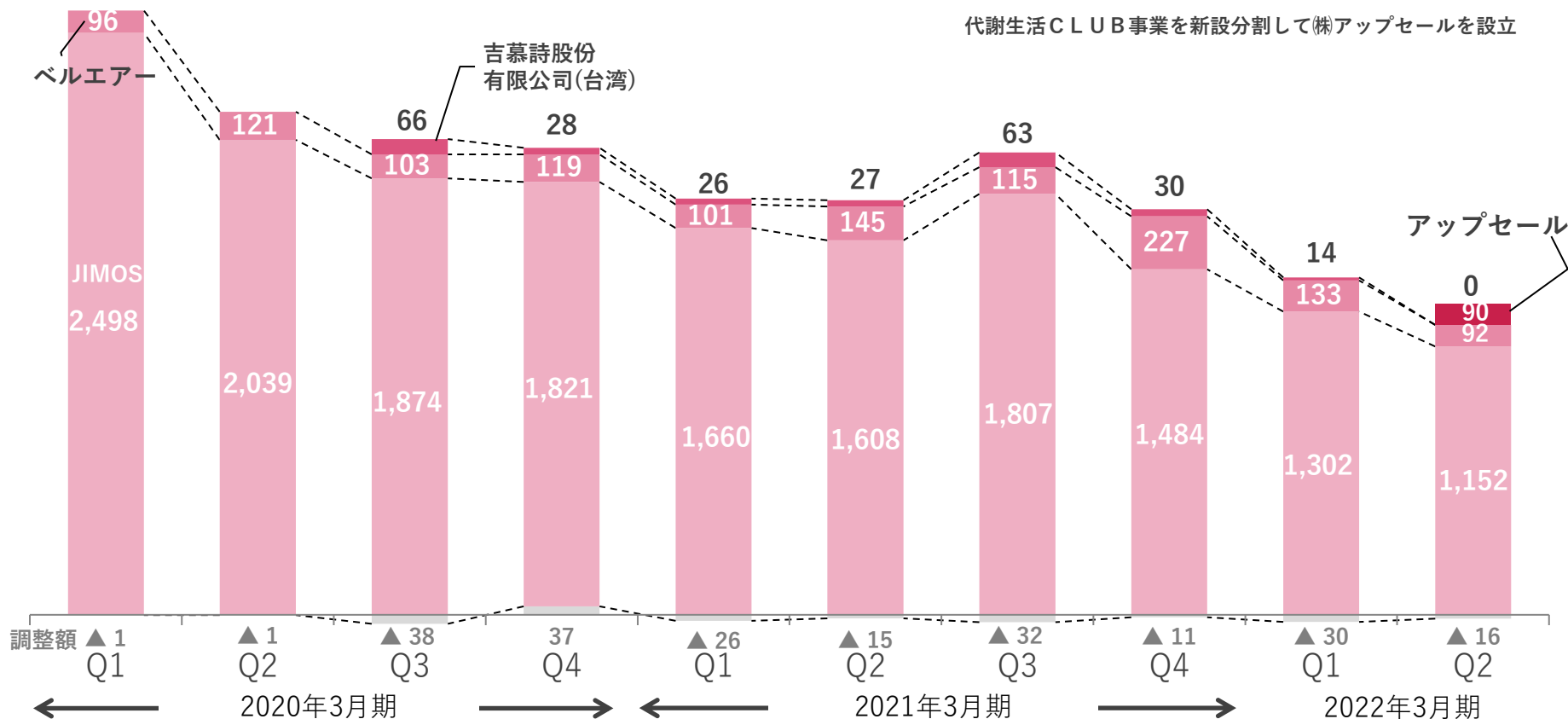
売上高	(百万円)									
	2,593	2,158	2,005	2,006	1,763	1,765	1,954	1,730	1,419	1,319
営業利益	▲136	41	175	44	▲67	▲80	158	112	183	128

売上高四半期推移

注) (株)ベルエアー決算期変更(12月⇒3月)のため、2021年3月期 Q4は6ヶ月決算

注) 2021年3月期 (株)ベルエアーがQOL倶楽部を吸収合併

注) 2022年3月期 (株)JIMOSのインフィニティービューティー事業および代謝生活CLUB事業を新設分割して(株)アップセールを設立



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-5c 美容・健康事業 第51期以降の重点施策

- ≫ (株) J I M O S : 基礎化粧品機能強化等による新規顧客獲得および
新ブランド「SINN PURETÉ」の浸透と拡販
- ≫ (株) ベルエアー : 販路拡大を目的とする販売形態多様化とそれに伴う一般市場向け製品開発
- ≫ (株) トレミー : 顧客ニーズに合わせた提案と新たな商品提供
- ≫ (株) アップセール : 自社ECサイトおよびECモールを中心としたEC市場への注力



MACCHIA LABEL
マキアレイベル



coyori



SINN PURETÉ
natural & organics



TOREMY



ベルエアー



UP SALE

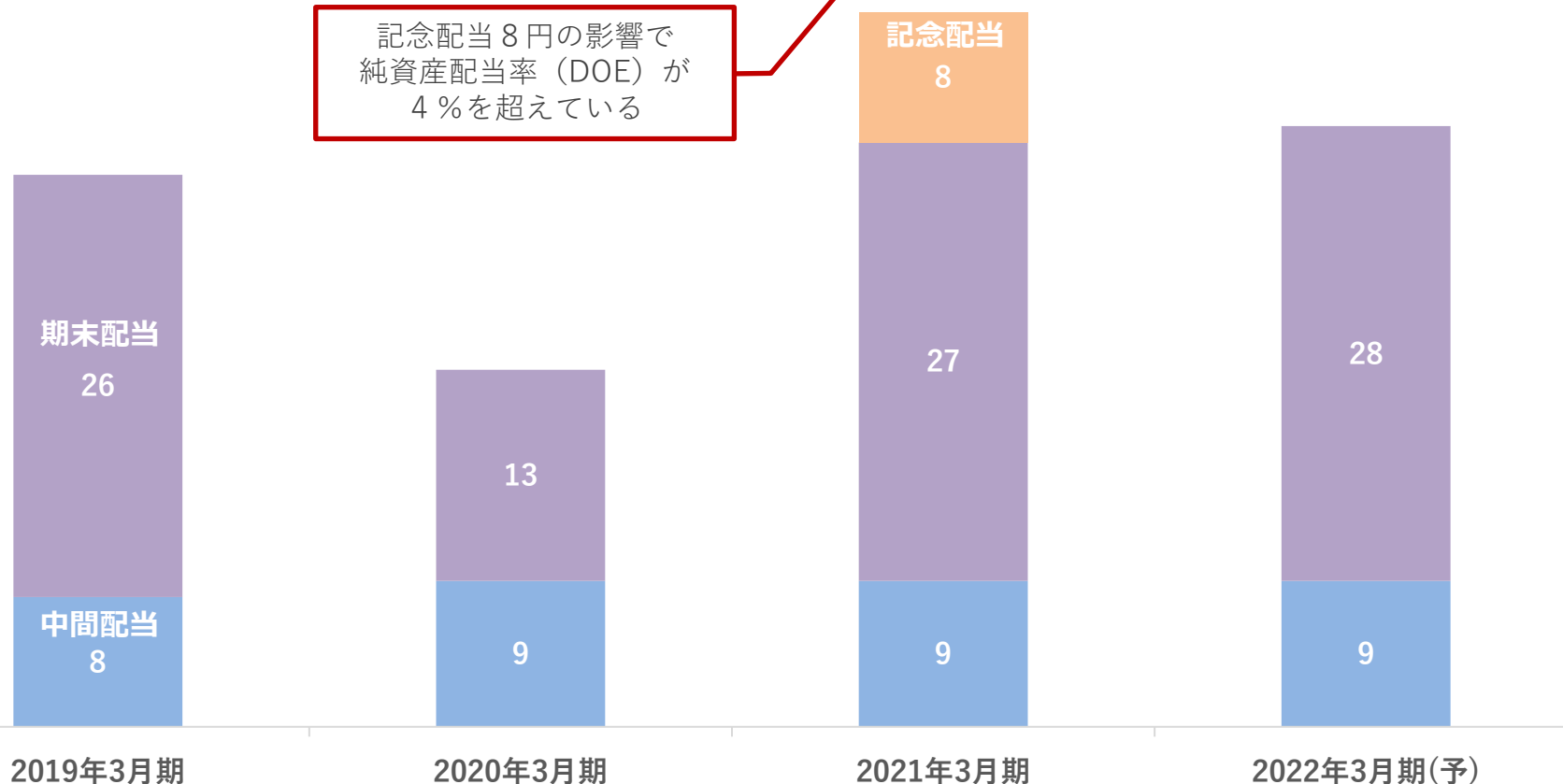
3. 配当

3-1 配当方針および配当実績、配当予想

配当方針：純資産配当率(DOE) 4 %かつ配当性向100%以内

年間配当額	34	22	44	37
純資産配当率 (DOE)	3.9%	2.5%	4.8%	—
配当性向	84.3%	95.9%	53.6%	51.8%

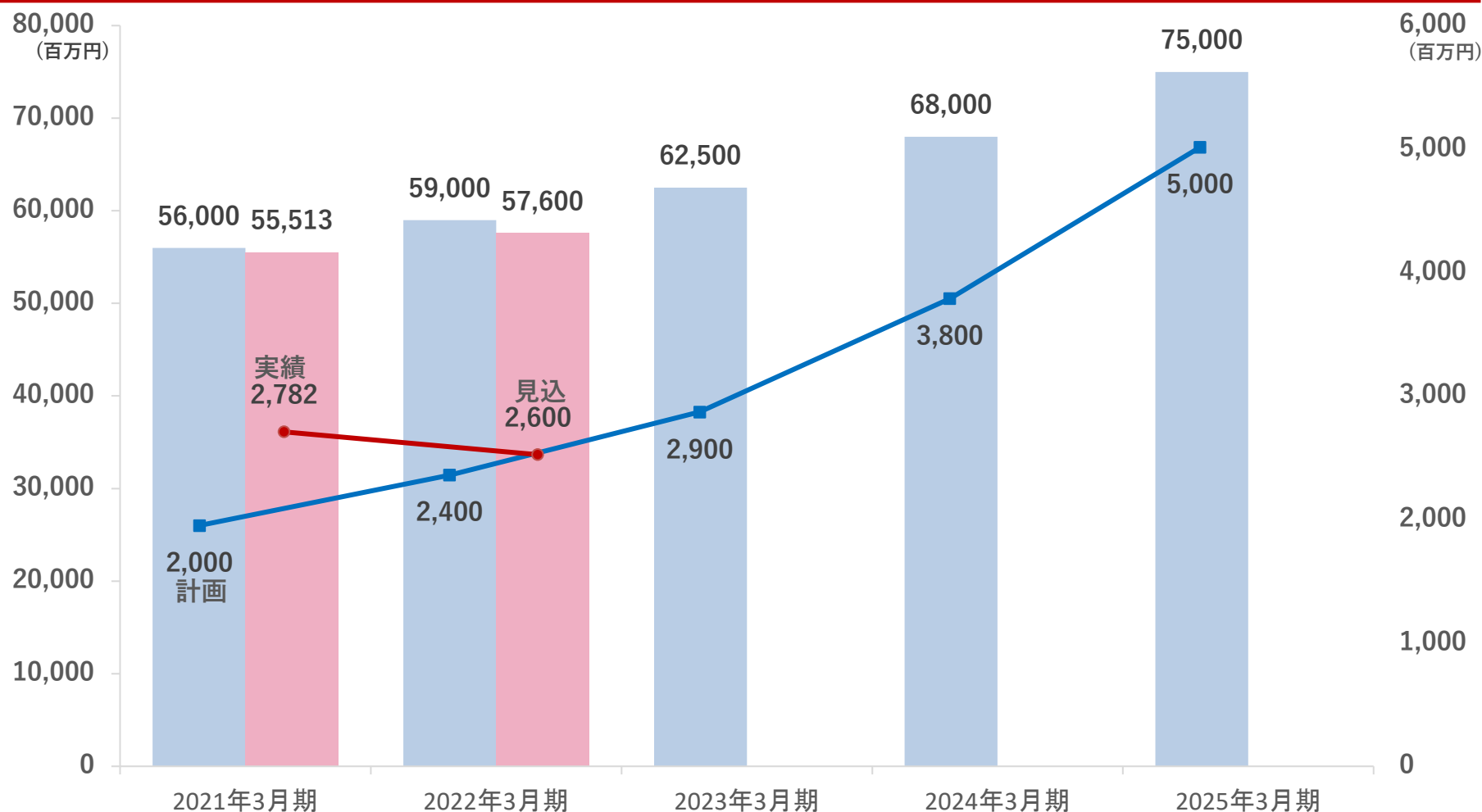
記念配当 8 円の影響で
純資産配当率 (DOE) が
4 %を超えている



4. 中期経営計画

4-1 中期経営計画の状況

- » 2022年3月期は主にクリクラ事業およびレンタル事業で将来の事業拡大に向けて積極的な投資をするため、前期比減収減益の見込みとなるが、中期計画に対しては減収増益を見込む



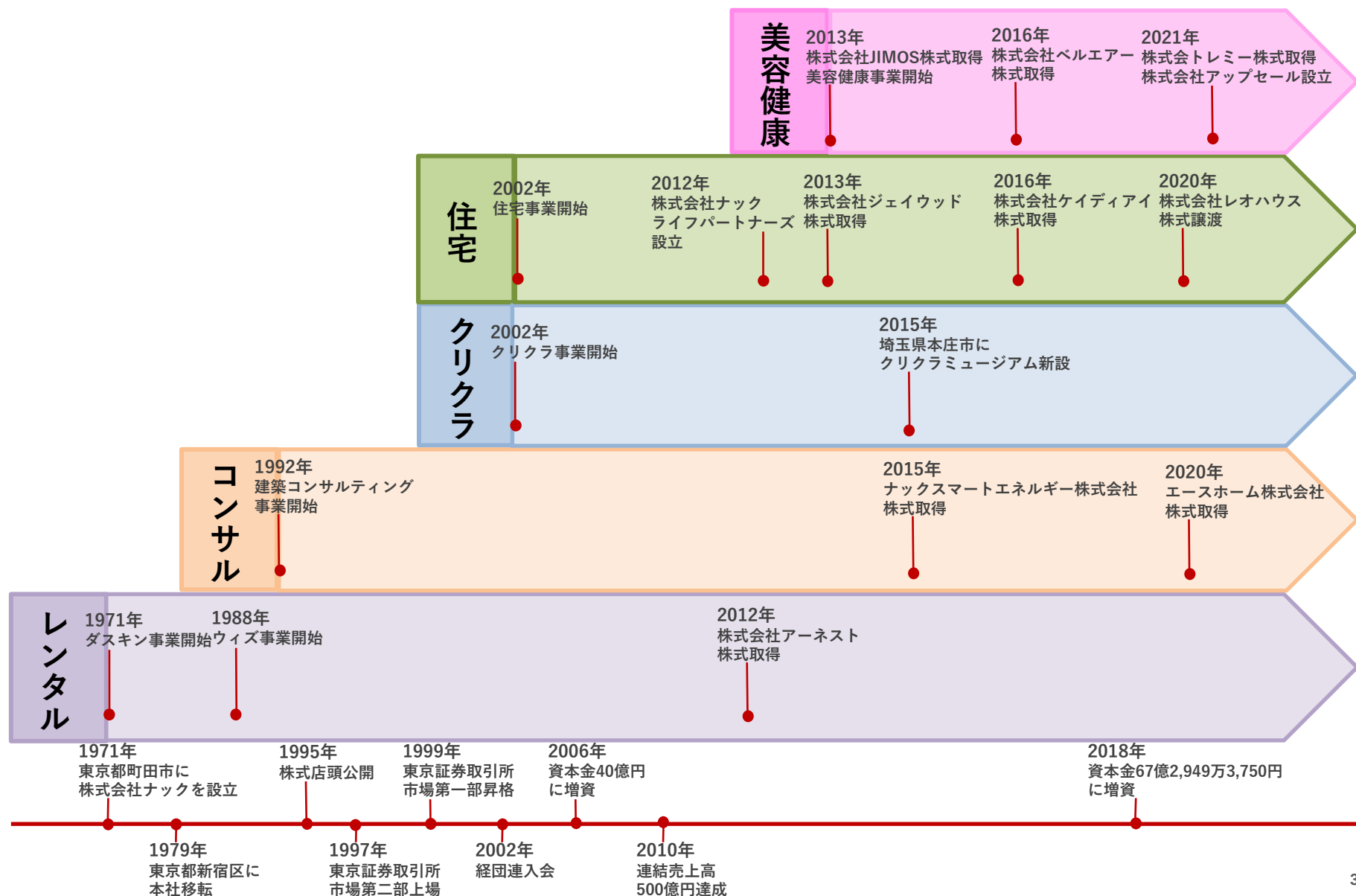
5. 会社概要

5-1 会社概要

(2021年9月末 現在)

商 号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)
所 在 地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル42階
設 立	1971年 5 月20日
代 表 者	代表取締役社長 吉村 寛
連 結 子 会 社	レンタル コンサル 住 宅 美容健康 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業) ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) 株式会社ケイディアイ (住宅事業) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生) 株式会社 JIMOS (美容・健康事業) 株式会社ベルエアー (美容・健康事業) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社トレミー (受託製造) ※ 2021年7月子会社化 株式会社アップセール (美容・健康事業) ※ 2021年9月設立
従業員数 (正社員)	連結1,649 名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資 本 金	6,729,493,750 円
発 行 済 株 式 数	24,306,750 株 (一単位：100株)
株 主 数	11,440 名 (自己名義株式を除く総株主数)

5-2 ナックグループのあゆみ

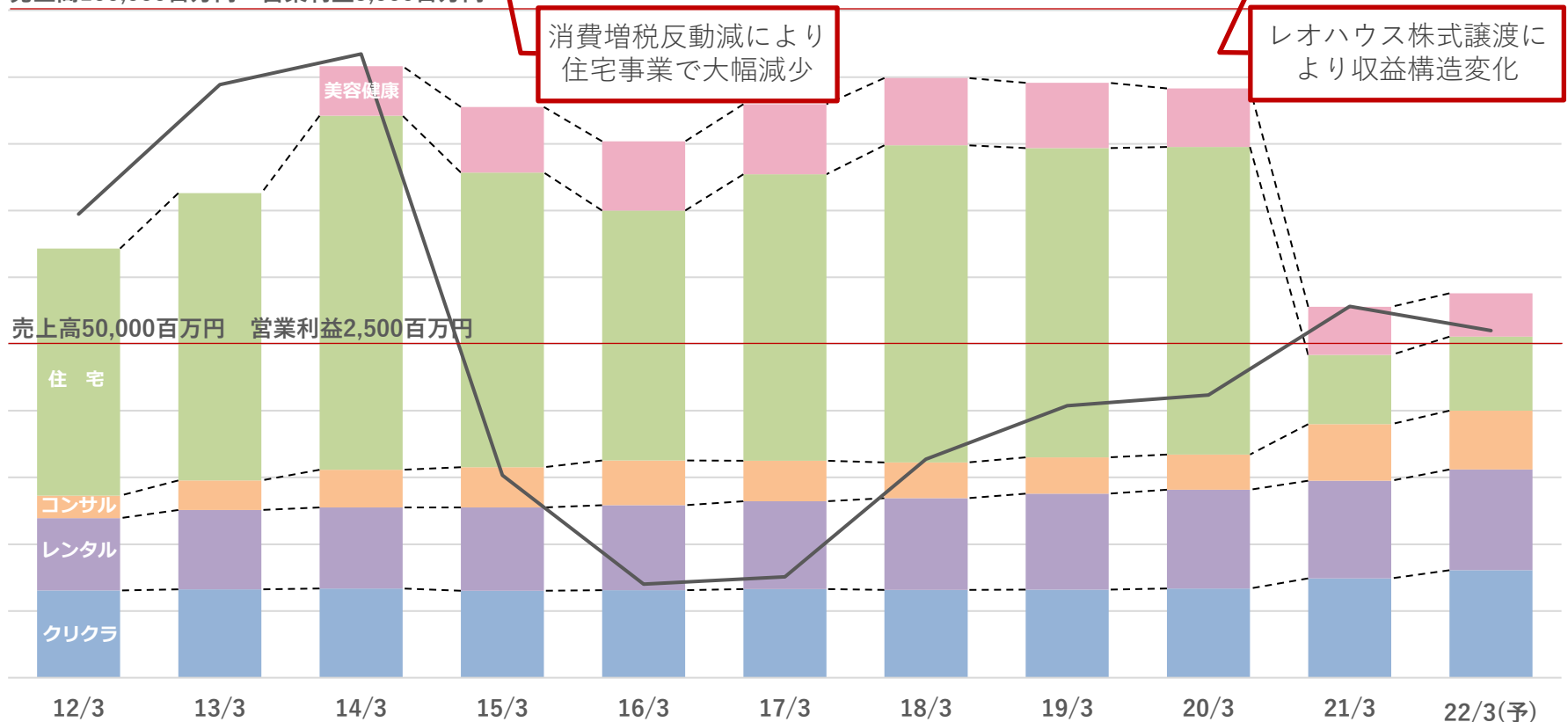


5-3 ナックグループ業績（過去10期＋予想）

売上高	64,307	72,621	91,630	85,443	80,302	85,901	89,818	89,111	88,222	55,513	57,600
営業利益	3,474	4,444	4,672	1,517	701	756	1,637	2,037	2,118	2,782	2,600

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

売上高100,000百万円 営業利益5,000百万円



2012年3月
アーネスト
子会社化

2013年7月
JIMOS子会社化
美容・健康事業開始

2015年9月
ナックススマート
エネルギー子会社化

2016年12月
ベルエアー
子会社化

2018年9月
株式会社ダスキンと
資本業務提携契約締結

2020年2月
エースホーム
子会社化

2021年7月
トレミー
子会社化

2012年11月
ナックライフ
パートナーズ設立

2013年7月
ジェイウッド
子会社化

2015年4月
クリクラ本庄工場新設
(埼玉県本庄市)

2016年5月
ケイディア
子会社化

2017年6月
国木ハウス
子会社化

2018年12月
JIMOSがインフィニティー
ビューティーを子会社化

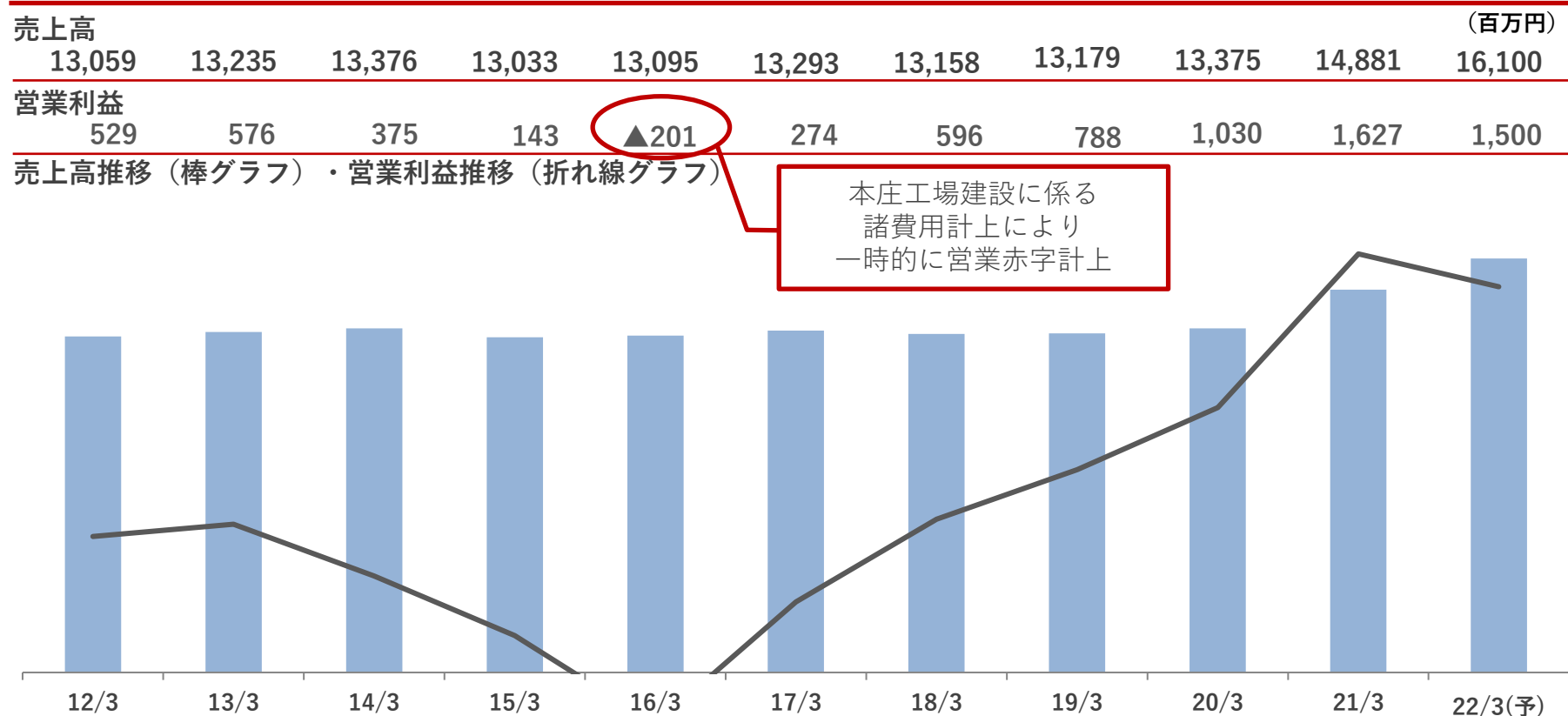
2020年5月
レオハウス
株式譲渡

2021年9月
アップセル設立

5-4 事業紹介 クリクラ事業

主な構成：(株)ナック クリクラ事業部

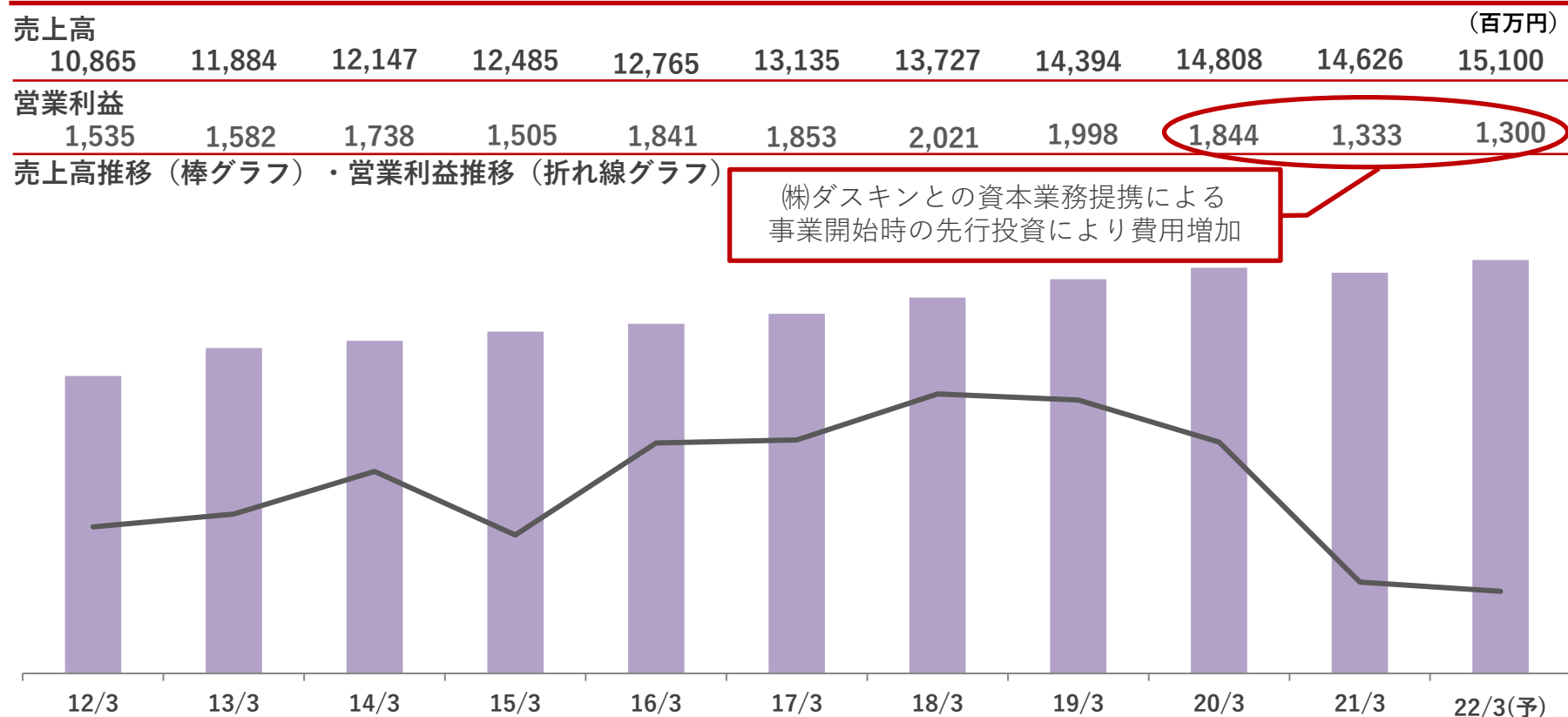
- 宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の製造・販売
- クリクラチェーンの本部を運営（加盟店約500社）
- **10年連続**お客様満足度**No.1**（2020年12月ニフティ株式会社調べ「宅配水に関する調査」）
- **業界初**のHACCP認証、ecoマークを取得、**業界初**の研究開発専門センター設立
- 2015年4月に埼玉県本庄市に製造工場およびクリクラミュージアム設立



5-5 事業紹介 レンタル事業

主な構成：(株)ナック レンタル事業部、(株)アーネスト

- ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等
- ダスキンプランチャイズディーラー **売上No.1** (約1,900社中)
- **日本初**の厚生労働省承認飲食店向け害虫駆除器「with」
- 2012年3月 (株)アーネストを子会社化 (ビルメンテナンス事業)
- 2018年8月 (株)ダスキンの資本業務提携契約を締結



5-6 事業紹介 建築コンサルティング事業

主な構成：(株)ナック 建築コンサルティング事業部、ナックススマートエネルギー(株)、
エースホーム(株)

□ 地場工務店への建築ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業

■ ナック会員工務店 **約7,000社**

■ 2015年9月 ナックススマートエネルギー(株)を子会社化（省エネ商材販売・施工）

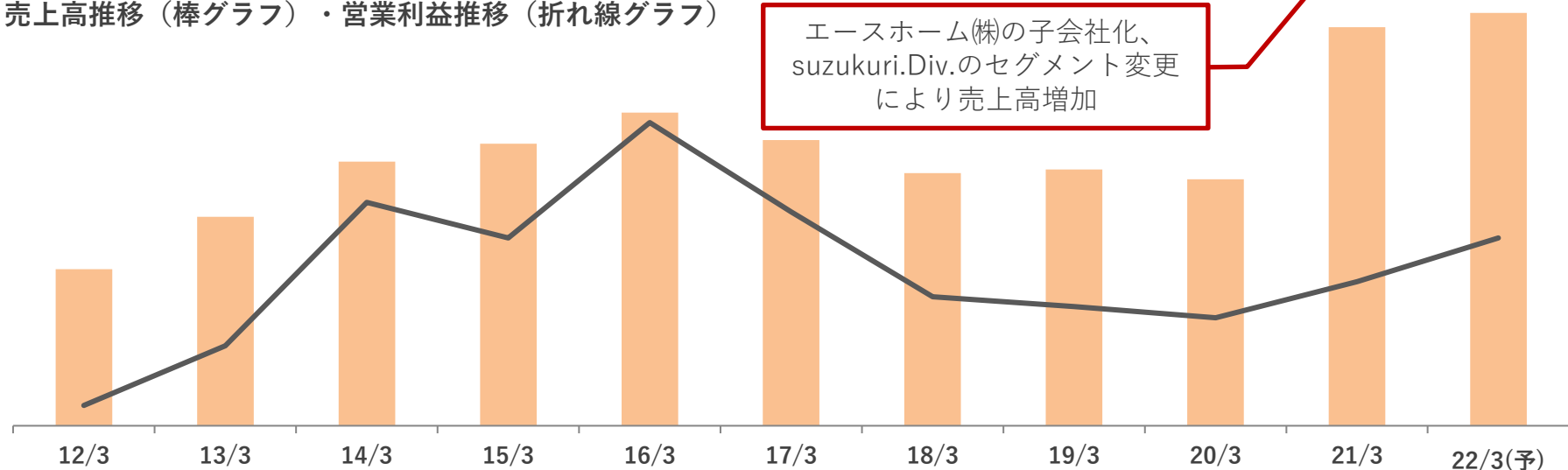
■ 2017年4月 (株)s u z u k u r i を子会社化（異業種と提携した住宅事業を展開）

（2020年4月に住宅事業セグメントから変更後、suzukuri Div.として継続）

■ 2020年2月 エースホーム(株)を子会社化（住宅フランチャイズ事業）

売上高	3,336	4,455	5,628	6,014	6,676	6,089	5,383	5,459	5,251	8,495	(百万円) 8,800
営業利益	543	670	976	900	1,146	956	775	754	730	807	900

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）



5-7 事業紹介 住宅事業

主な構成：(株)ケイディアイ、(株)ジェイウッド、(株)ナックライフパートナーズ

□ 戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務

■ 2013年7月 (株)ジェイウッドを子会社化（自然素材の注文住宅）

■ 2016年5月 (株)ケイディアイを子会社化（首都圏での分譲・注文住宅）

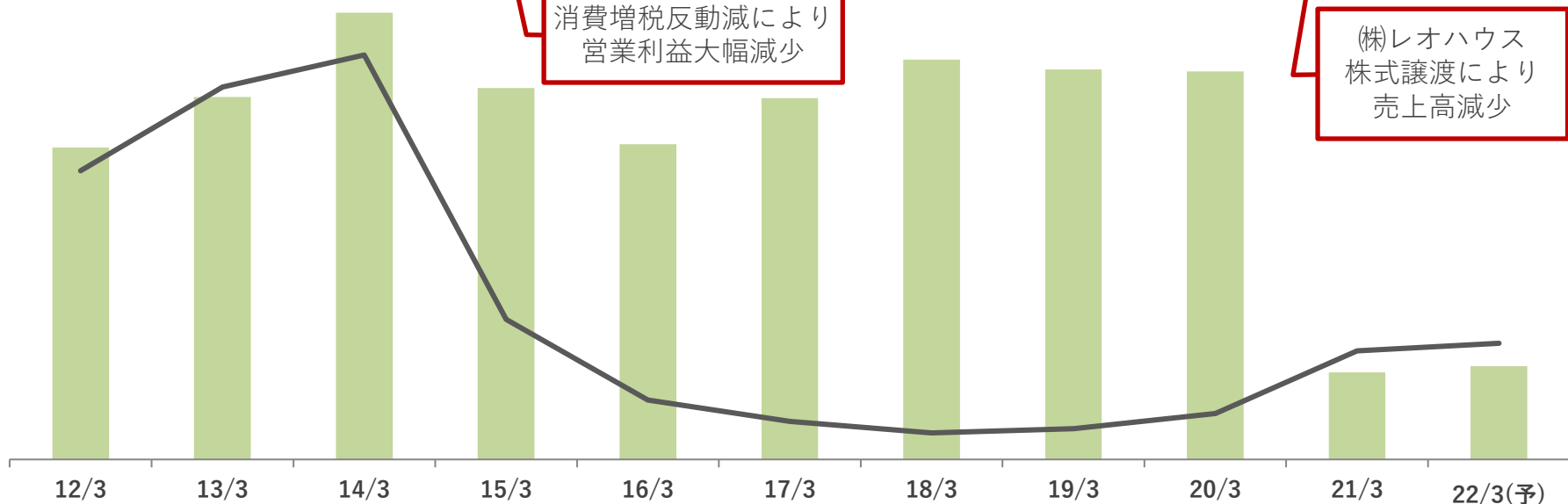
■ 2017年6月 (株)国木ハウスを子会社化（北海道で住宅事業を展開）

（2021年4月 (株)ジェイウッドへ吸収合併）

売上高	37,046	43,049	53,059	44,134	37,452	42,936	47,492	46,318	46,101	10,341	11,100
営業利益	1,858	2,686	3,003	388	▲ 412	▲ 622	▲ 736	▲ 694	▲ 545	74	150
売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）											

消費増税反動減により
営業利益大幅減少

(株)レオハウス
株式譲渡により
売上高減少



5-8 事業紹介 美容・健康事業

主な構成：(株) J I M O S、(株)ベルエアー、(株)トレミー、(株)アップセール

□ 化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売

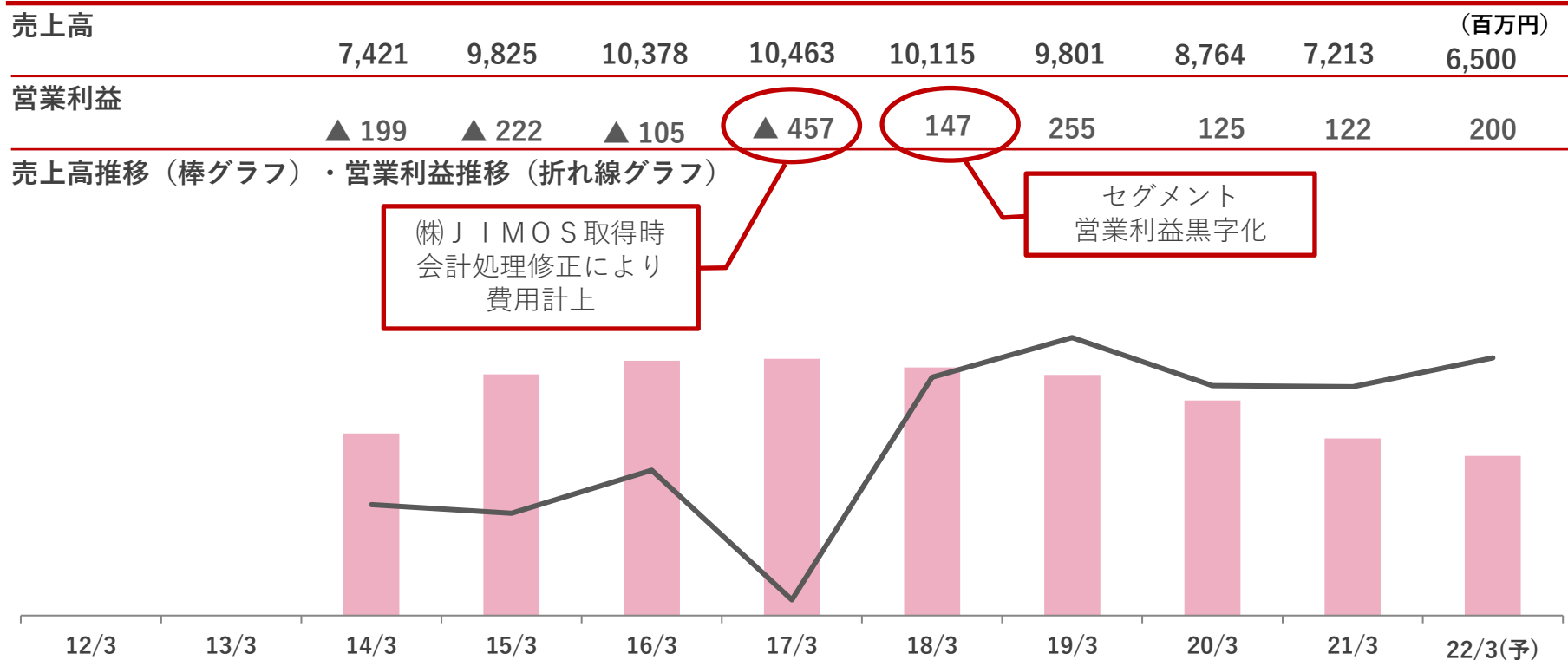
■ 2013年7月 (株) J I M O S の子会社化により美容・健康事業参入

40～60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力

■ 2016年12月 (株)ベルエアーを子会社化（サプリメント販売）

■ 2021年7月 (株)トレミーを子会社化（化粧品の受託製造）

■ 2021年9月 (株)アップセールを設立



Best Communication
NAC